



2021年1月28日

各 位

会 社 名 新光電気工業株式会社  
 代 表 者 名 代表取締役社長 藤 田 正 美  
 コード番号 6967 東証第1部  
 問 合 せ 先 経営企画室長 清 野 貴 博  
 TEL(026) 283-1000 (代)

当社の親会社 富士通株式会社  
 代 表 者 名 代表取締役社長 時 田 隆 仁  
 コード番号 6702 東証、名証各第1部

## 業績予想の修正に関するお知らせ

業績予想の修正につき、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 2021年3月期通期連結業績予想数値の修正（2020年4月1日～2021年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A) (2020年10月27日発表)	177,300	13,500	14,700	10,000	74.02
今 回 修 正 予 想 (B)	182,900	18,700	20,000	13,400	99.19
増 減 額 (B-A)	5,600	5,200	5,300	3,400	—
増 減 率 (%)	3.2	38.5	36.1	34.0	—
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	148,332	3,227	4,813	2,690	19.92

#### 2. 修正の理由

2021年3月期第3四半期累計期間の当社業績は、テレワーク、オンライン学習の拡大ならびに第5世代移動通信システム（5G）の実用化等を背景として、サーバーおよびパソコン向けにフリップチップタイプパッケージの受注が想定を上回って推移するとともに、大型の設備投資を展開してきたフリップチップタイプパッケージの新ラインの量産稼働開始が売上増加に寄与しました。セラミック静電チャックにつきましても、半導体製造装置市場における旺盛な需要を背景に売上がさらに増加し、また、第3四半期に入って自動車向け需要の底打ちなどにより、リードフレームの売上が回復に転じるなど、売上、収益ともに想定を上回る状況にあります。特に収益面においては、高付加価値製品をはじめとする売上増加による収益性の向上等により、予想を大きく上回って進捗いたしました。

引き続き第4四半期においても半導体市場は堅調に推移することが見込まれ、受注環境は好調を維持することが想定されます。

このような状況をふまえ、2020年10月27日に発表いたしました2021年3月期通期の連結業績予想数値を修正いたします。

なお、通期業績予想の前提となる第4四半期の為替レートを1米ドル=102円から100円に変更いたします。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。

実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上